

2025年度（6期生） 卒業時アンケート調査結果概要

教育支援・教学IR室

1

1. 卒業生へのアンケート結果について

2026/2にWEBアンケート（Formsを使用）で実施し、回答率は97名/108名の90%であった。（P.4）

A. 本学の教育・設備等に関するまとめ

①本学で受けた教育や学生生活について

教育全体について「どちらかと言えば満足」/「満足」と肯定的回答は93%と概ね高評価であったが、「満足」72% → 59%と強い満足が縮小し、「どちらかと言えば満足」26% → 34%へ分布が移行した。大学生生活に対しても同様に、「どちらかと言えば満足」/「満足」と肯定的回答は93%と概ね高評価であったが、「満足」79% → 57%が大きく低下し、「どちらかと言えば満足」18% → 36%へシフトが見られる。両設問とも9割超で安定している一方、「非常に満足」層の厚みが縮小し「どちらかと言えば満足」へ平準化していた。（P.6）

②勉学や学生生活にとって良かったと思うもの（複数回答可）について

「チューター制度」（48%）と最も多く、ついで「友人関係」（42%）、「臨地実習」（38%）の順で高く、毎年同じ項目が上位にあがっており、教員や友人関係を含めた人間関係・実践学習の評価が高いことがうかがえる。また、海外研修の再開により、海外研修に対する学生の評価が回復しつつある様子もうかがえる。（P.7）

③本学で受けた教育によって身についたレベルについて

3つの汎用能力と7つのディプロマポリシーに関する能力の修得状況について、全く身につけていない（1）から十分身についた（10）の10段階尺度で回答する質問を実施した。（P.8-P.24）17の質問すべてにおいて、入学時点と卒業時点とを比較してレベル平均値は統計的に有意に上昇しており、レベル平均値は1.4～1.8倍と大きく上昇していた。ただし、DP6（口腔ケア実践および口腔と全身の関連理解）は、卒業時点でも唯一8点を超えず、若干低い傾向であった。卒業後アンケートでも同傾向が続いており、口腔ケアの実践は学生にとって修得難度の高い能力領域と考えられる。

④本学の施設・設備に関する質問について

概ね満足していたことを示す結果であったが、昨年度と比較すると今年度は多くの項目で「はい」「どちらかといえばはい」が昨年度より低下しており、特に教室やセミナー室などで僅かではあるが否定的意見が増えていた。（P.25）

⑤本学の生活について

学生生活での経験が、自身の考え・行動に良い方向を与えたか、また仕事に役立つか、社会生活に役立つかという3つの問いに対して、一部否定的回答もあったが、98%以上が肯定的に回答していた。また、もっとも肯定的な「はい」という回答も昨年度よりは低下したものの、7割近くあった。（P.26）

2

B. 本学の学生支援に関するまとめ

①本学のチューター制度について

チューター教員への相談しやすさや学修支援になっていたかについては、9割以上が肯定的回答であるものの、わずかに否定的回答が増えている結果となった。

また、チューター教員からの良い支援と感じたことについて（複数回答）は、第1位が就職・キャリア支援で60%で、大幅に増加していた。続いて、「国家試験対策」「進級関係」であり、学生が直面する進路・国試・学修継続の課題に対し、チューターが実質的に支援している点が高く評価されている。（P.29）

②本学の就職・キャリア支援について

本学の就職・キャリア支援体制が就職や進学の支援になっていたかについては、99%の学生が肯定的回答をしており、ほぼ昨年度同様な結果となった（P.30）。

良い支援として「教員からの支援」を挙げた学生は57%と一番多く昨年度より5%向上し、ついで「キャリア支援ハンドブック」「キャリア支援室」と続いた。教員による支援が学生の満足度を大きく押し上げていることがわかる。（P.31）

③本学の国家試験対策について

本学の国家試験対策が支援になっていたかについては97%（昨年度は99%）の学生が、「はい」、「どちらかと言えばはい」と回答しており、例年高い満足が得られている。（P.32）。良い支援として第1位が「業者補講」「教員補講」であり、ついで「模試結果個人成績票」であった。（P.33）。その他として、図書館の利用が緩和されたことを触れている学生もいた。業者補講に対する満足度（5段階評価）では、4以上と回答した割合が91%であり、満足度が高かった。（P.35）さらに、模試の実施回数については、適切との回答が70名と最も多かったが、国試に近い時期での実施や、模試の解説ややり直しのサポートを望む声もあった。

④学生自身の国家試験対策について（自己評価）

国家試験を意識して演習や実習に取り組んでいた学生は92%に達し、昨年度から4%ではあるが向上した。しかし、国試対策の開始時期は例年よりやや後ろ倒しとなっており、今後は早期から取り組めるような声かけや支援が求められる。国試対策の開始時期については、4年生の4～6月頃以前に取り組み始めることが適切だと考える学生が多く、これは例年と同様の傾向であった。（P.36-37）

⑤在学中の退学意向について

学生の退学抑止につなげることを目的として、今年度から在学期間中の退学検討の有無を問う設問を新たに設けた。退学を検討した学生は11%であり、一定数の学生が学業継続に不安や迷いを抱えていたことが確認された。退学を検討した学生の多くは、特に家族の支えを受けて学業継続へと踏みとどまっており、加えて教員や友人の支援も重要な役割を果たしていた。また、チューター教員以外への相談の機会や匿名フォームでの相談の要望があがっていた。（P.38）

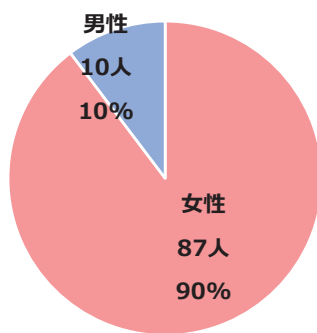
以上の結果より、教育の成果としてディプロマ・ポリシーの達成ができていていることが示され、本学での教育、学生生活や設備に対する肯定的な回答割合がかなり高いことが示された。学生支援に関しても、キャリア支援および国家試験対策についての高い評価が得られている。

3

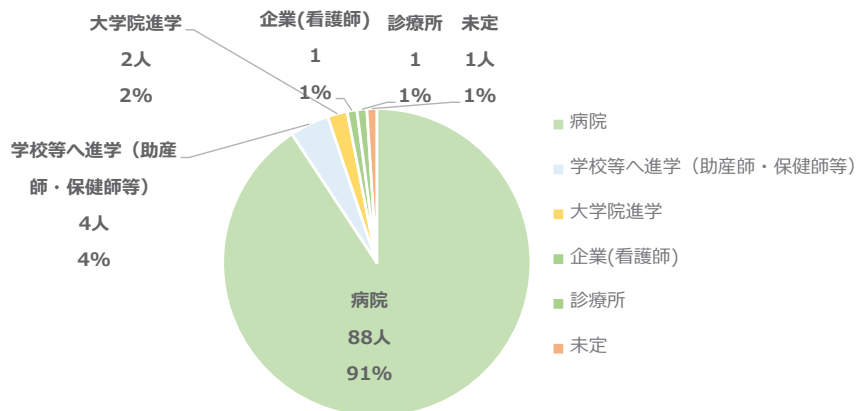
2.回答者の概要

回答者 97人/108人
(回答率：90%)

 性別



 就職先



※回答上は『就職先未定：1名』となっているが、実際には当該学生も含め、全員が就職または進学先を確定している。

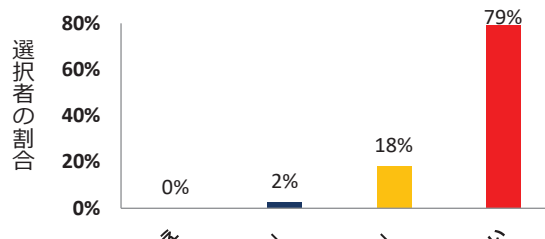
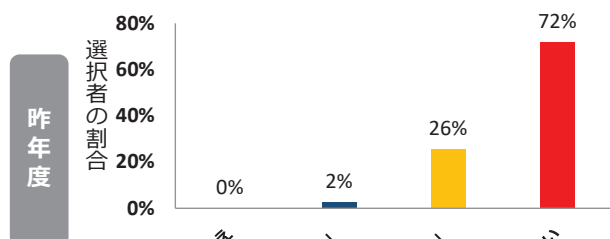
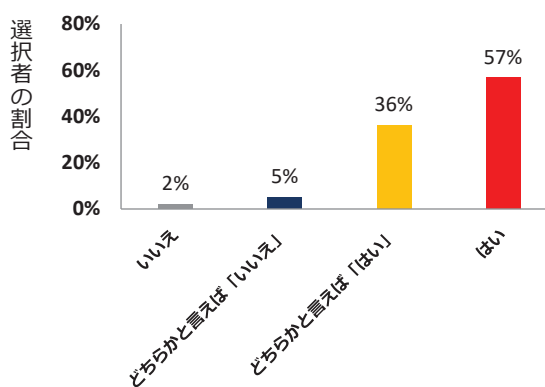
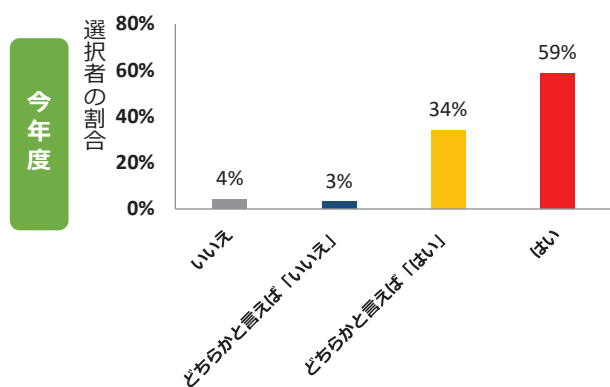
4

A.本学の教育、学生生活や設備について

3.アンケート結果

問3. 福岡看護大学で受けた教育全体に対して満足していますか。

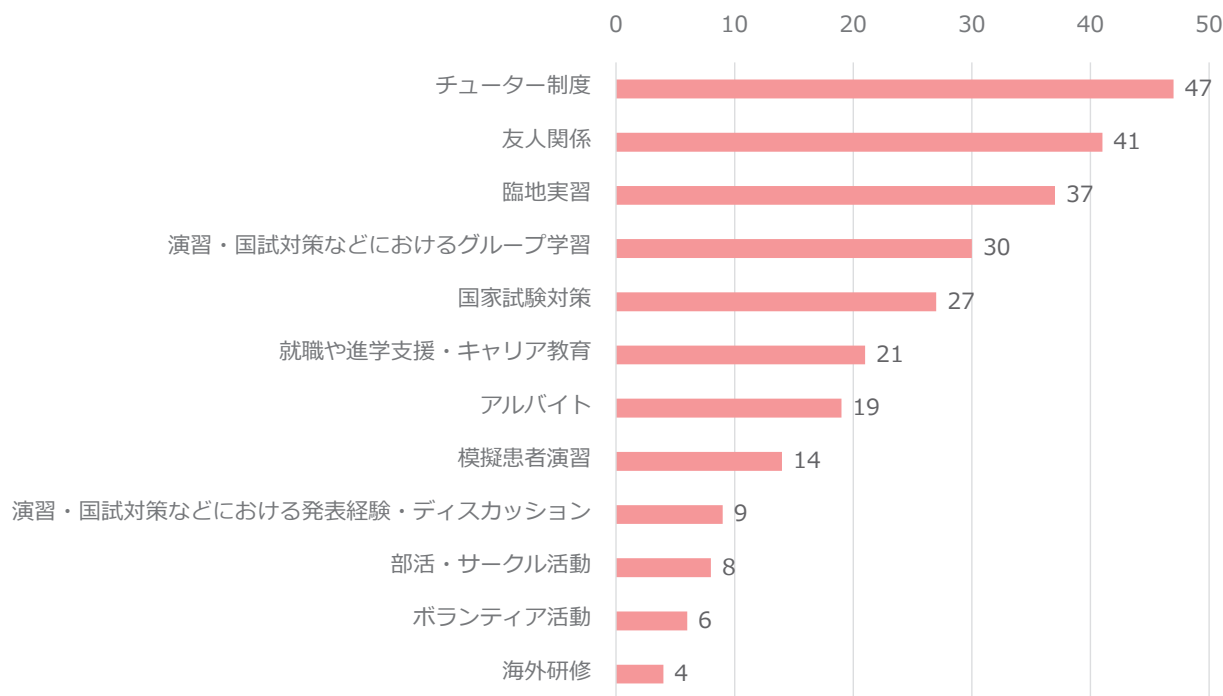
問4. 福岡看護大学での大学生生活に対して満足していますか。



教育全体について「どちらかと言えば満足」/「満足」と肯定的回答は93%と概ね高評価であったが、「満足」72% → 59%と強い満足が縮小し、「どちらかと言えば満足」26% → 34%へ分布が移行した。大学生生活に対しても同様で、「どちらかと言えば満足」/「満足」と肯定的回答は93%と概ね高評価であったが、「満足」79% → 57%が大きく低下し、「どちらかと言えば満足」18% → 36%へシフトが見られる。両設問とも9割超で安定している一方、「非常に満足」層の厚みが縮小し「どちらかと言えば満足」へ平準化していた。

3.アンケート結果

問5. あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか。
(複数回答 5 つまで)



「チューター制度」(48%)と最も多く、ついで「友人関係」(42%)、「臨地実習」(38%)の順で高く、毎年同じ項目が上位にあがっており、教員や友人関係を含めた人間関係・実践学習の評価が高いことがうかがえる。また、海外研修の再開により、海外研修に対する学生の評価が回復しつつある様子もうかがえる。

7

3.アンケート結果

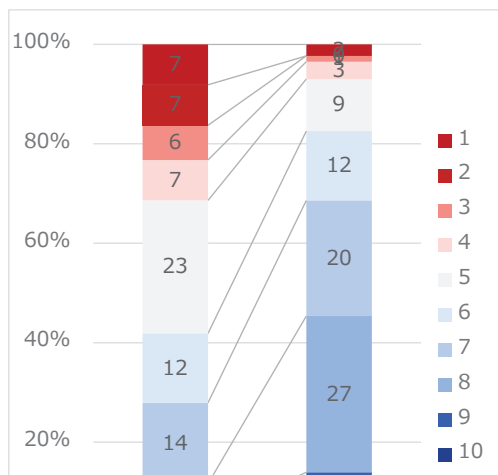
問6. においては、入学時点と卒業時点の回答をすべて一定値とし変化が無かったもの(11名)については、回答に疑義があるとして無効回答とした。

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

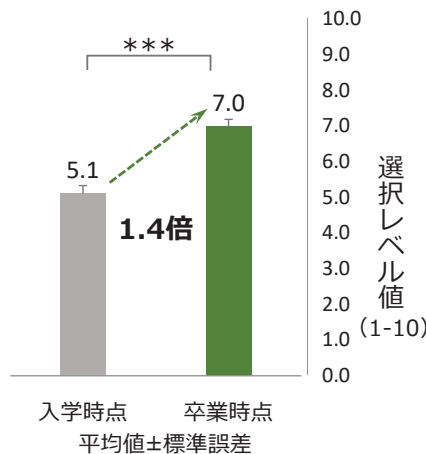
1: 全く身につけていないレベル 10: 十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(1) リーダーシップ能力

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



3つの汎用能力と7つのディプロマポリシーに関する能力の修得状況について、全く身につけていない(1)から十分身についた(10)の10段階尺度で回答する質問を実施した。17の質問すべてにおいて、入学時点と卒業時点とを比較してレベル平均値は統計的に有意に上昇しており、レベル平均値は1.4~1.8倍と大きく上昇していた。ただし、DP6(口腔ケア実践および口腔と全身の関連理解)は、卒業時点でも唯一8点を超えず、若干低い傾向であった。卒業後アンケートでも同傾向が続いており、口腔ケアの実践は学生にとって修得難度の高い能力領域と考えられる。

8

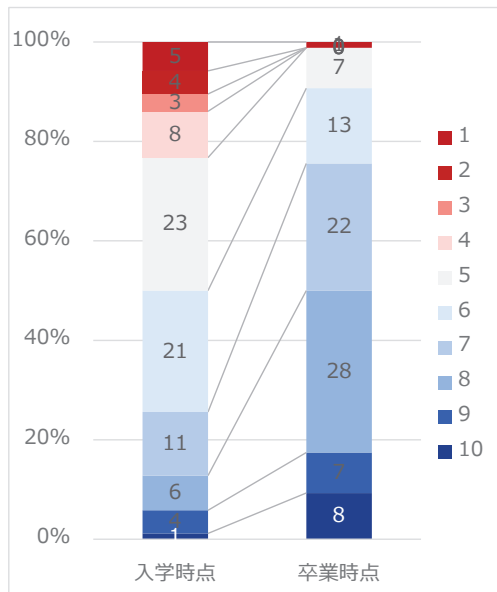
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

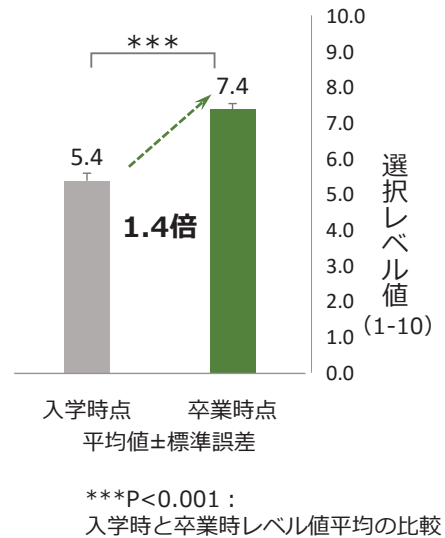
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(2) 説明する力やコミュニケーション能力

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



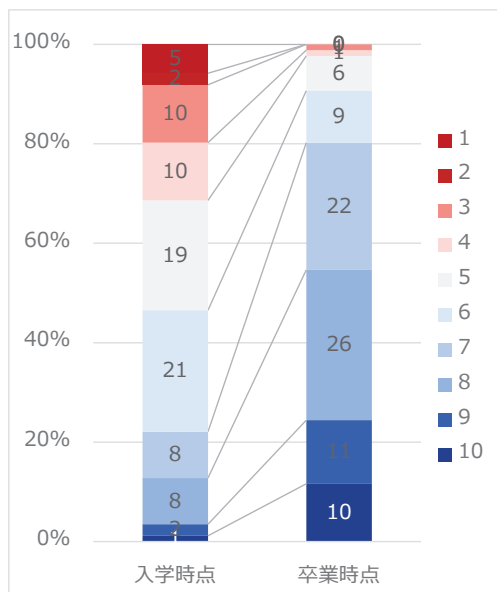
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

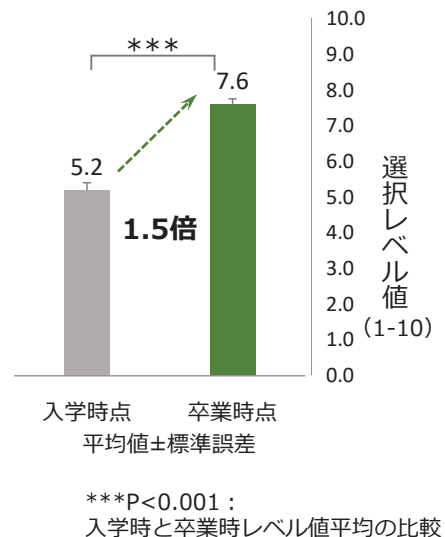
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(3) 課題解決力（思考力）

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



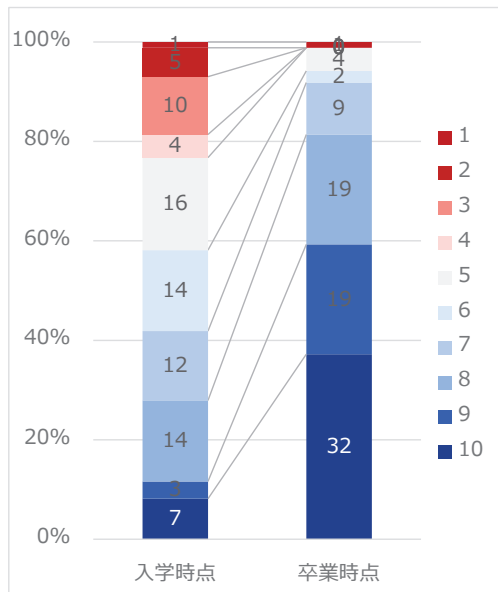
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

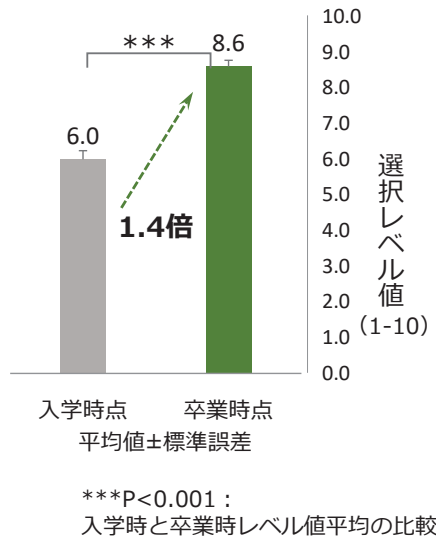
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(4) 患者様／対象者様を人として理解し、尊重する態度がある。(DP1)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



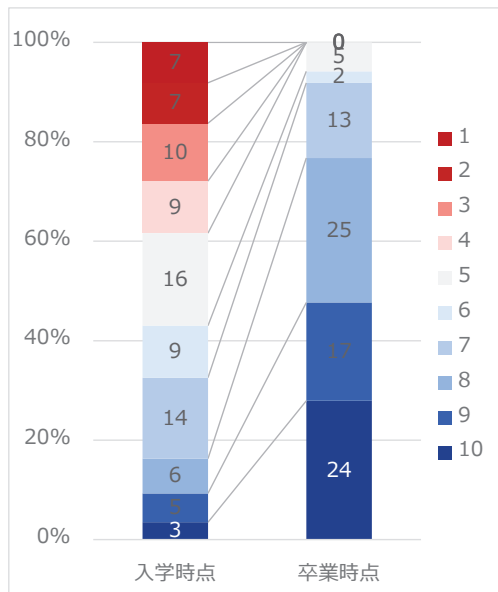
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

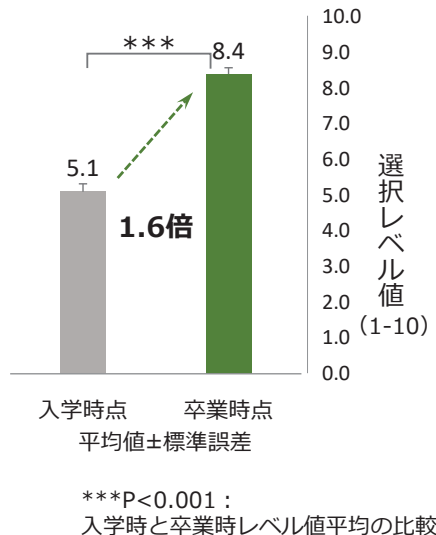
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(5) 患者様／対象者様との人間関係を築くことができる。(DP1)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



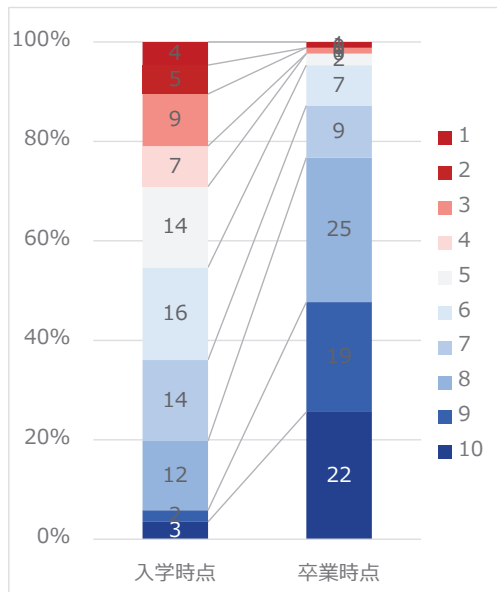
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

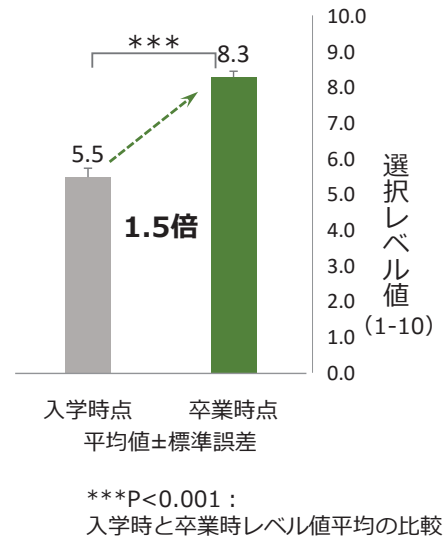
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(6) 多様な背景や価値観を持つ患者様／対象者様に対しての健康問題を考えることができる。(DP2)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



13

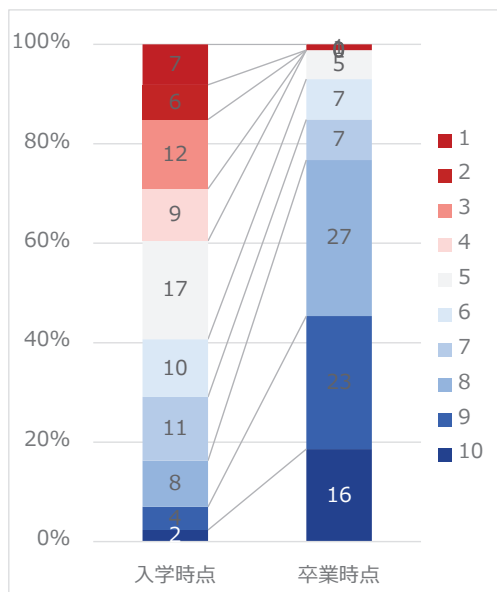
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

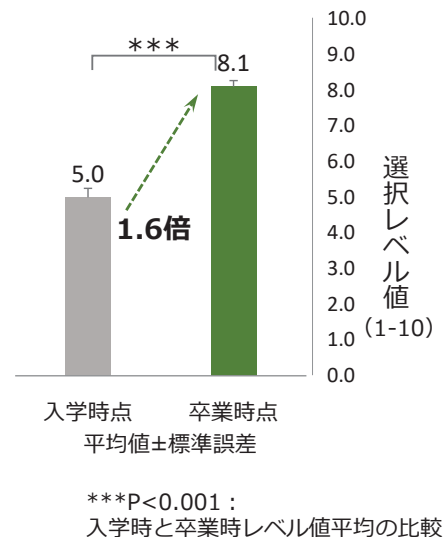
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(7) 多様な背景や価値観を持つ患者様／対象者様に対して柔軟に対応できる。(DP2)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



14

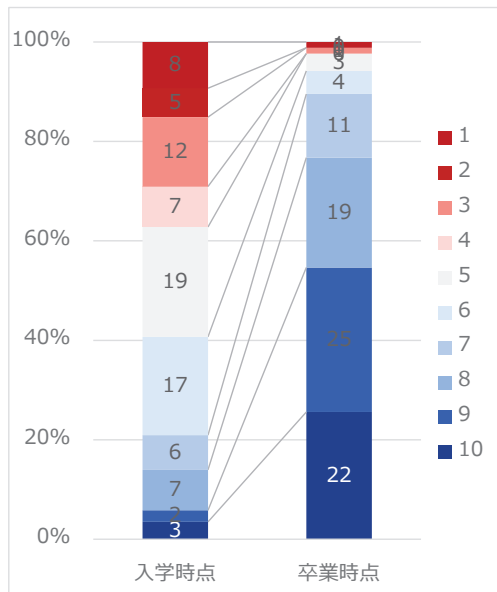
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

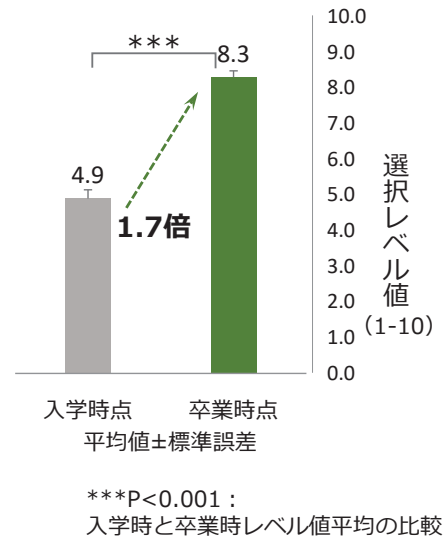
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(8) 個別性を配慮して、患者様／対象者様の最適な生活 (well-being) を考えることができる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



15

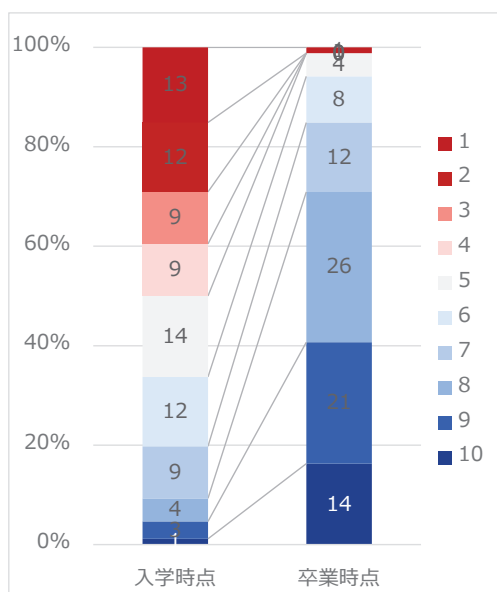
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

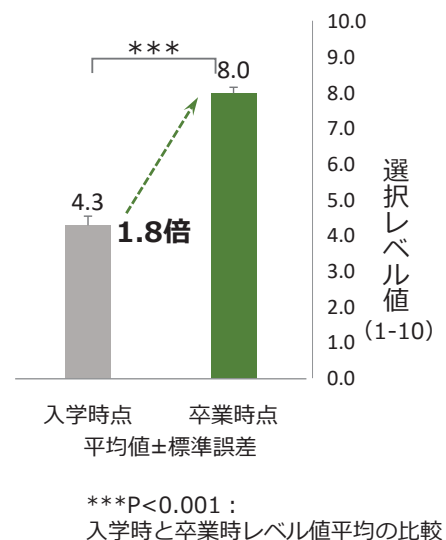
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(9) 科学的根拠に基づいて看護計画を立案し、患者様／対象者様に提案できる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



16

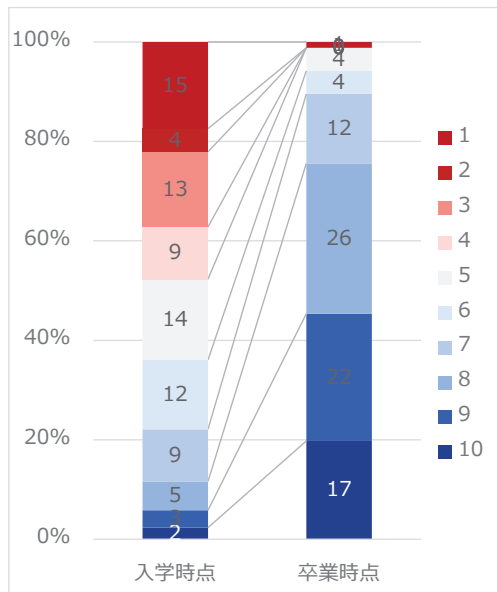
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

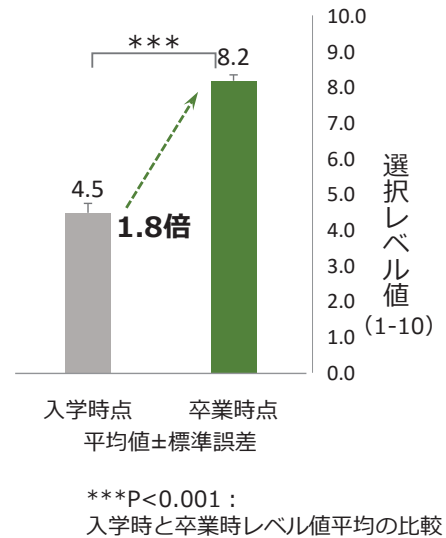
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(10) 患者様／対象者様に対し、根拠に基づいた看護実践ができる。(DP3)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



17

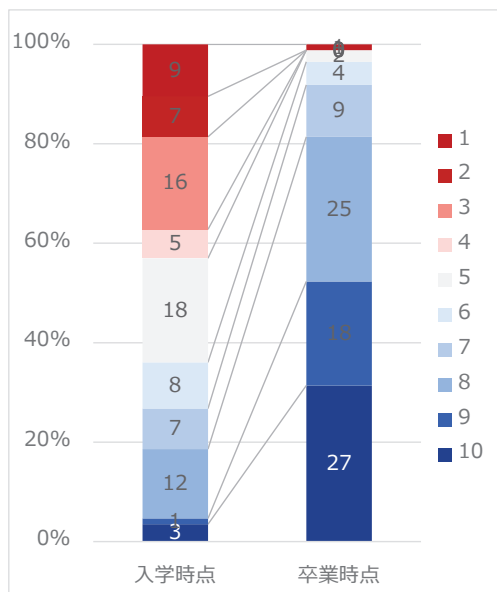
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

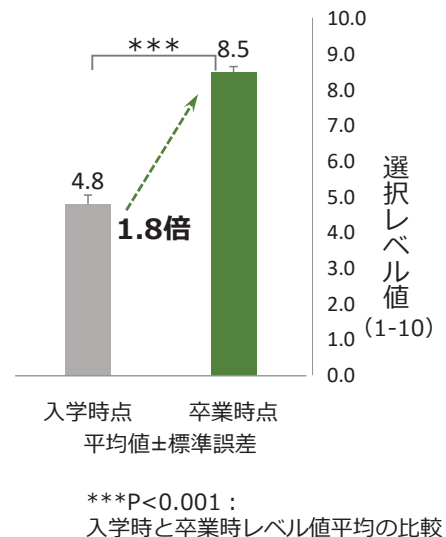
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(11) チーム医療の一員としての働きの重要性を理解している。(DP4)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



18

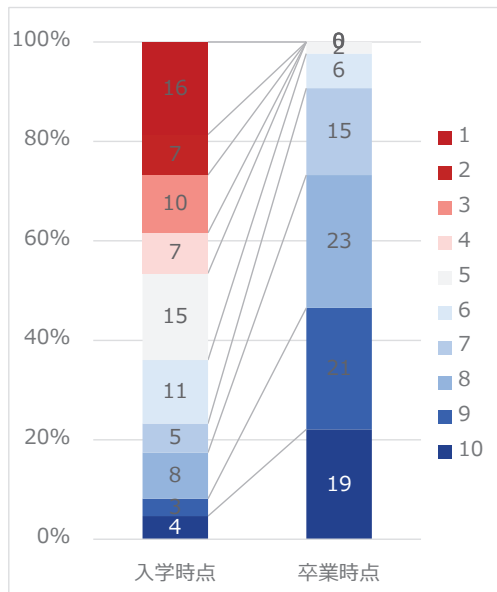
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

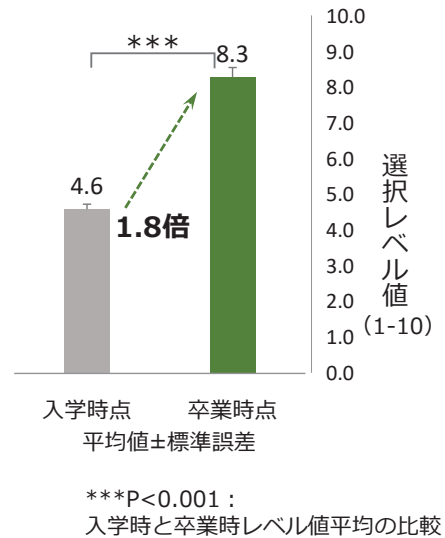
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(12) チーム医療の一員として、他の医療職者と積極的に連携できる。(DP4)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



19

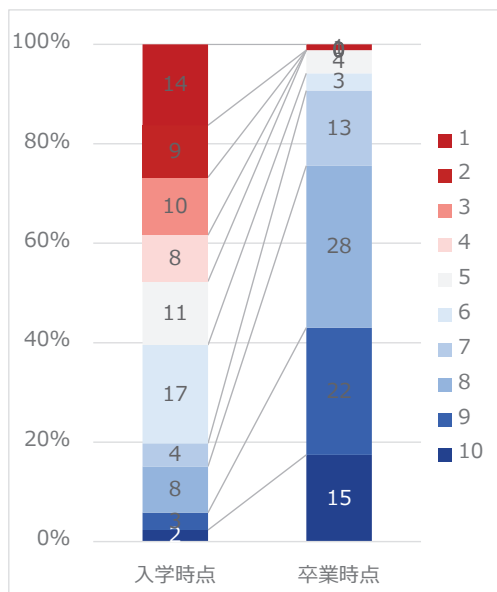
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

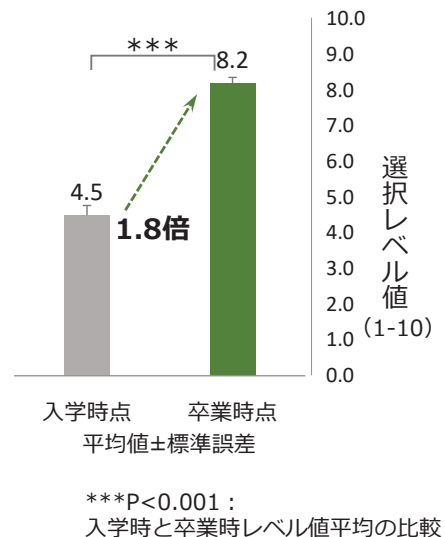
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(13) 患者様／対象者様の在宅での生活を意識した看護を実践できる。(DP5)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



20

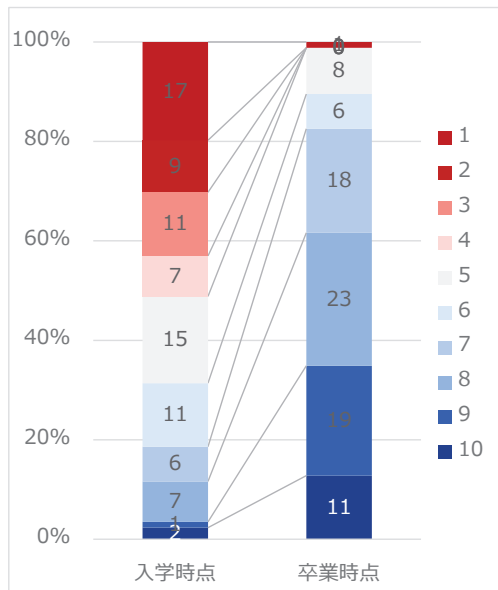
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

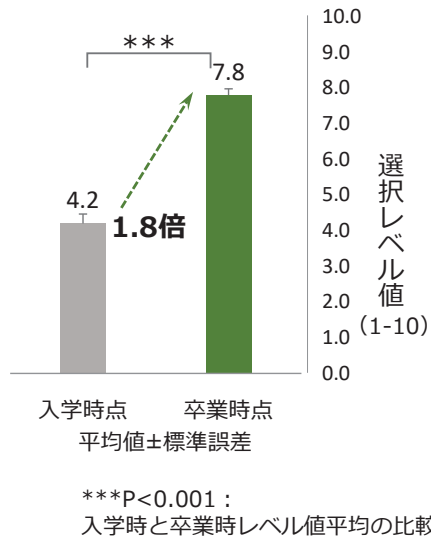
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(14) 患者様／対象者様の看護計画立案の際に、口腔と全身の健康の連関の視点を持っている。(DP6)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



21

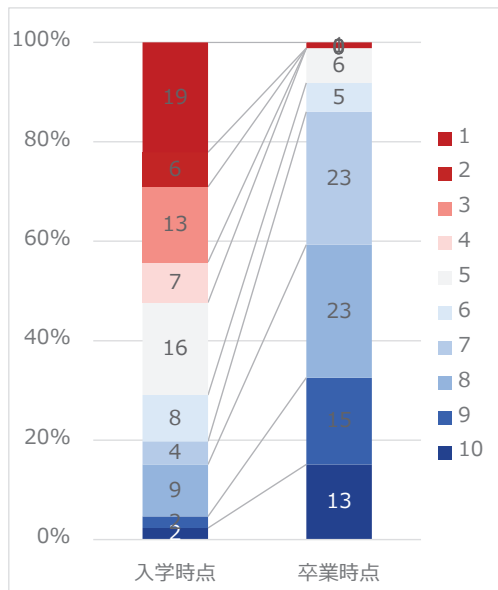
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

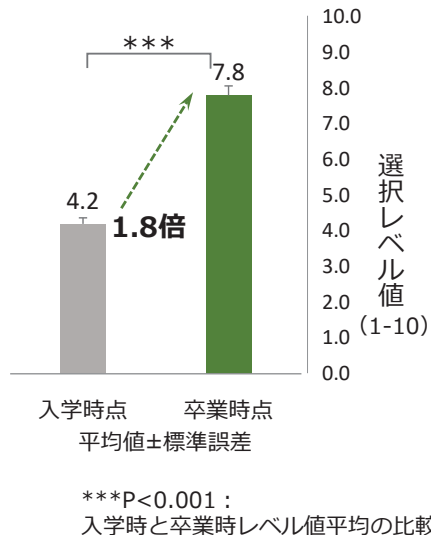
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(15) 患者様／対象者様の口腔ケアを積極的に実践している。(DP6)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



22

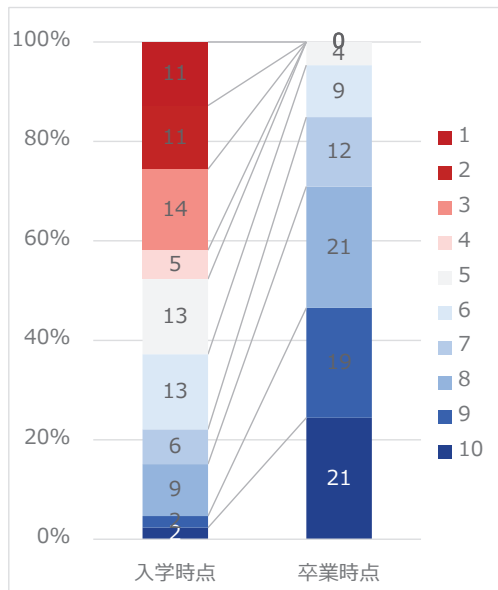
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

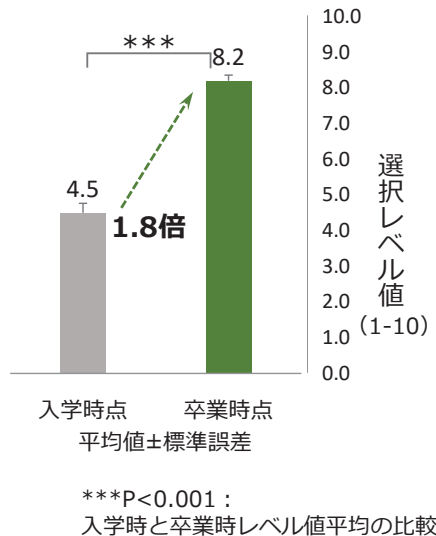
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(16) 看護専門職としての自身の課題を明らかにできている。(DP7)

各レベル選択者の割合の変化



レベル平均値の変化



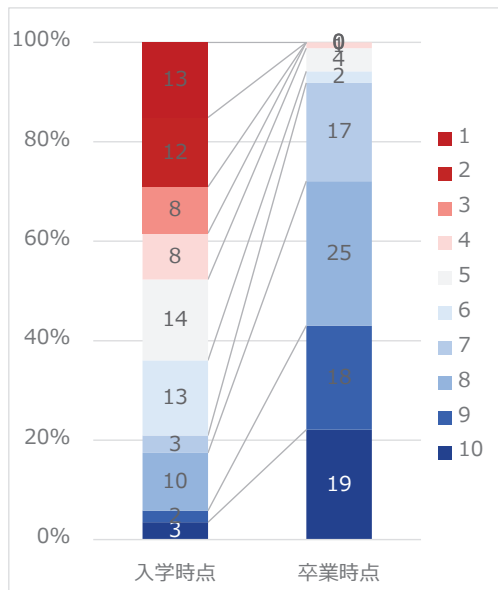
3.アンケート結果

問6. 入学当初と比べて、福岡看護大学での教育全体を通して、以下のようなことが身についたと感じますか。

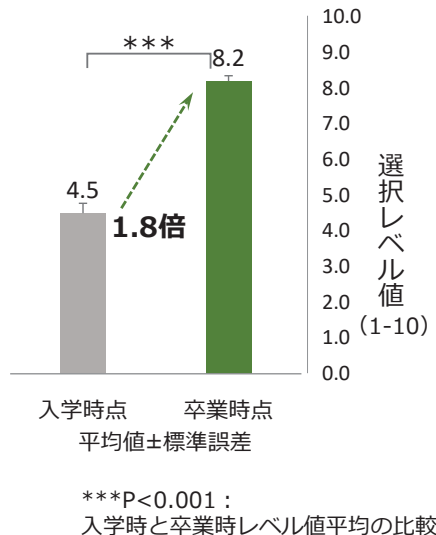
1：全く身につけていないレベル 10：十分に身についたレベル と考えた場合、入学時点と卒業時点での点数をお答え下さい。

(17) 看護専門職としての研鑽を続けている。(DP7)

各レベル選択者の割合の変化

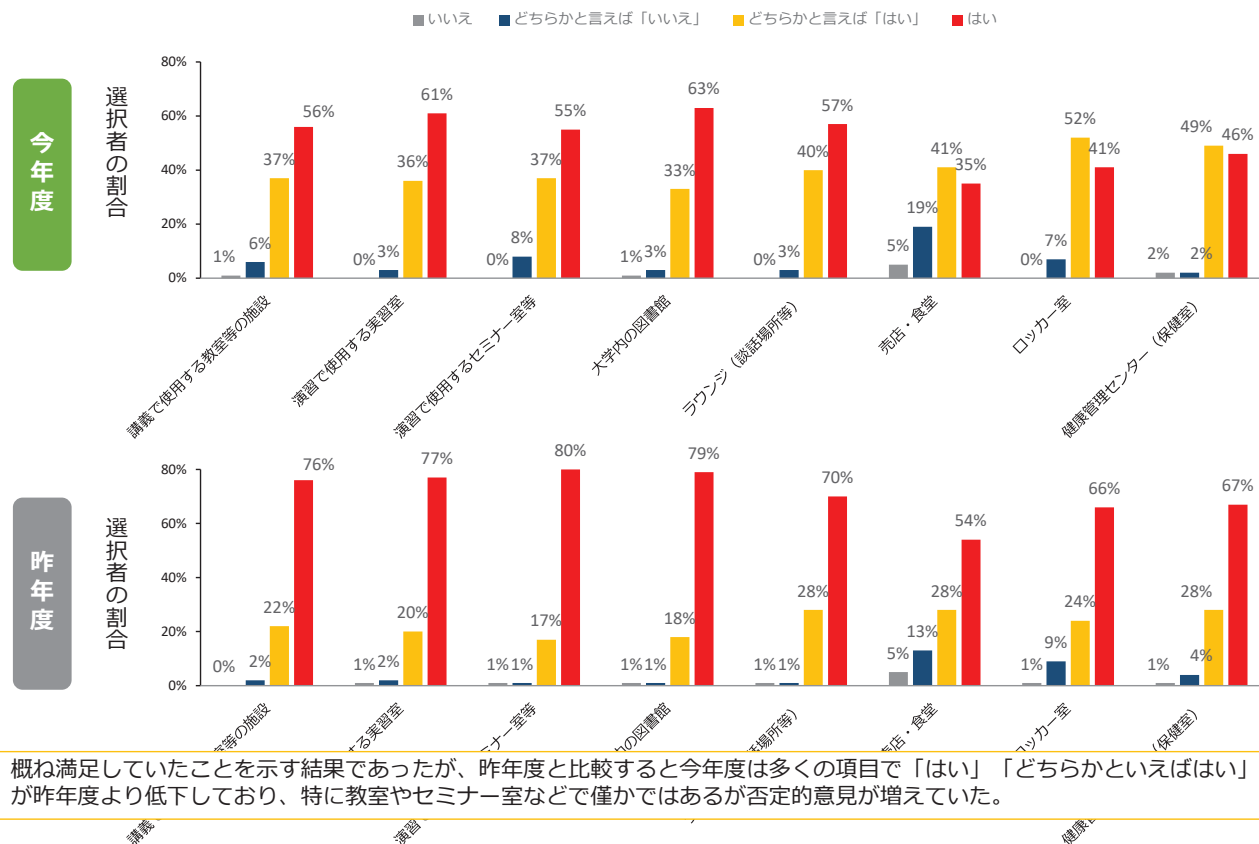


レベル平均値の変化



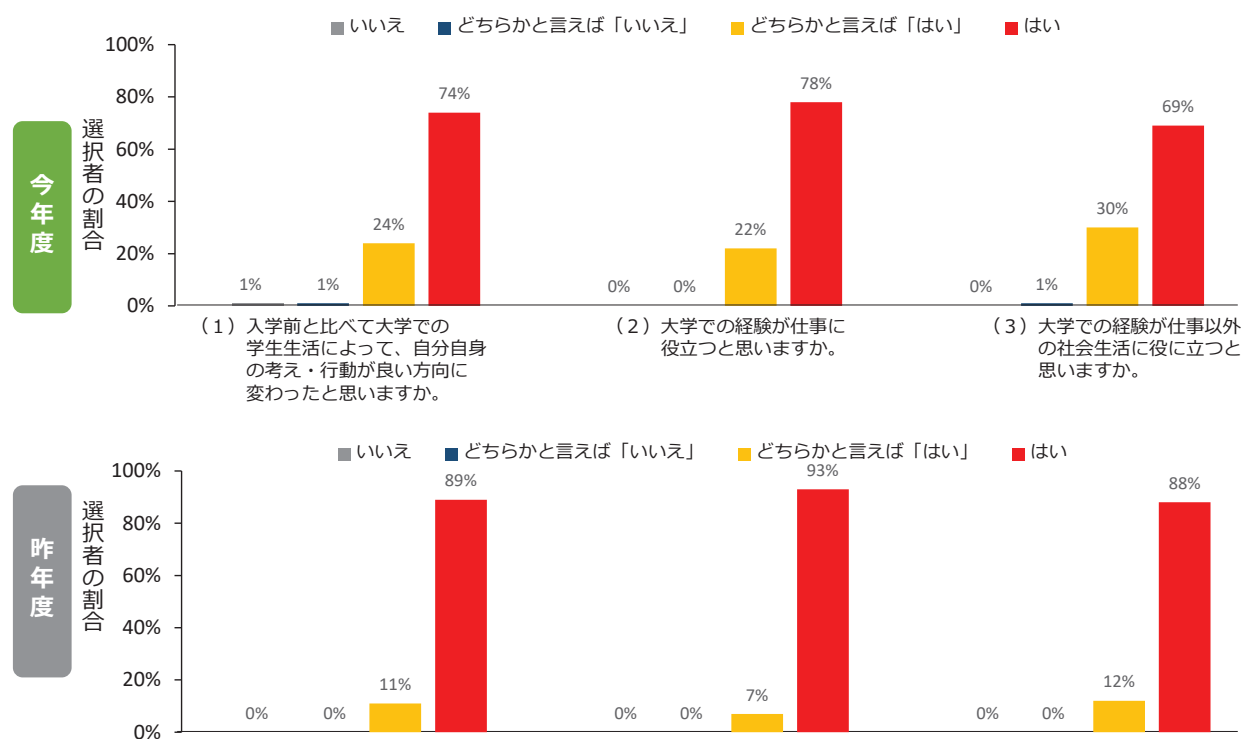
3.アンケート結果

問7.福岡看護大学（福岡学園内施設含む）の施設・設備に満足できましたか。



3.アンケート結果

問8. 福岡看護大学での学生生活の経験について

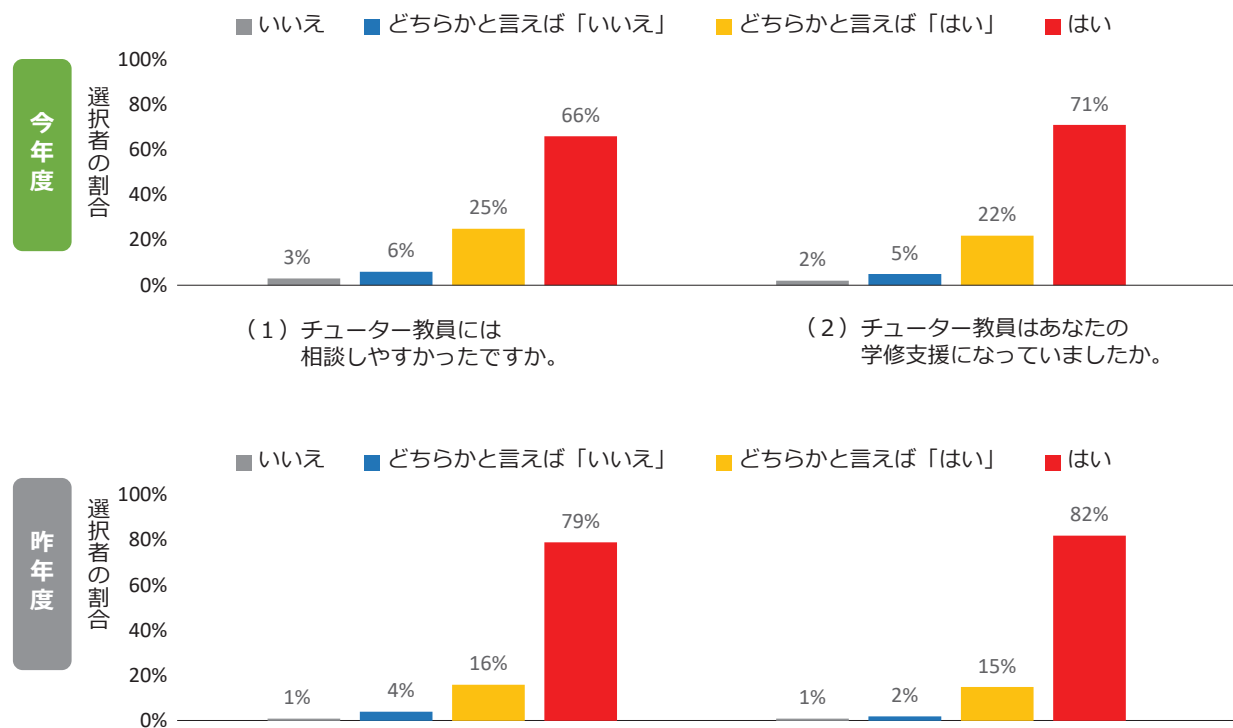


学生生活での経験が、自身の考え・行動に良い方向を与えたか、また仕事に役立つか、社会生活に役立つかという3つの問いに対して、一部否定的回答もあったが、98%以上が肯定的に回答していた。また、もっとも肯定的な「はい」という回答も昨年度よりは低下したものの、7割近くあった。

本学の学生支援について

3.アンケート結果

問9. 本学のチューター制度について

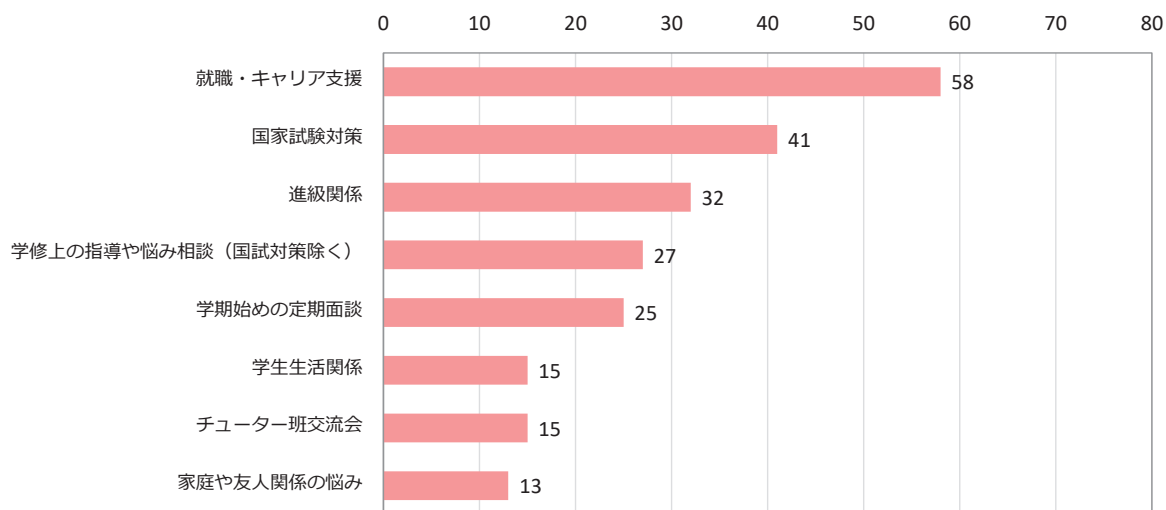


チューター教員への相談しやすさや学修支援になっていたかについては、9割以上が肯定的回答であるものの、わずかに否定的回答が増えている結果となった。

3.アンケート結果

問9. 本学のチューター制度について

(3) チューター教員からの指導・アドバイスで良い支援と感じたことは
 何ですか。(複数回答いくつでも可)

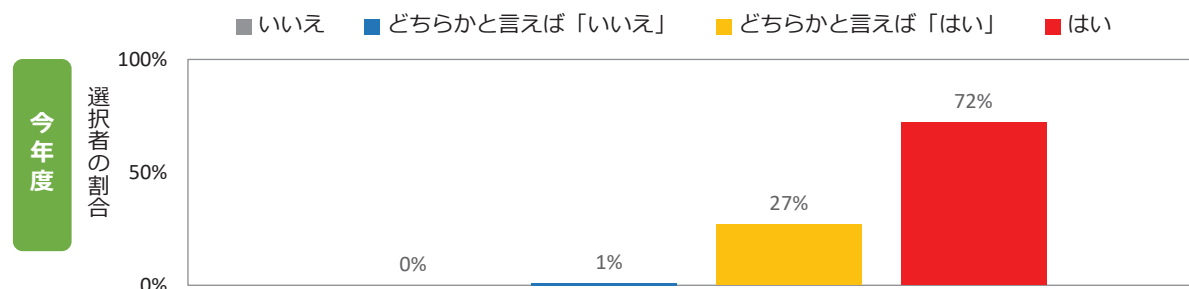


その他：卒論

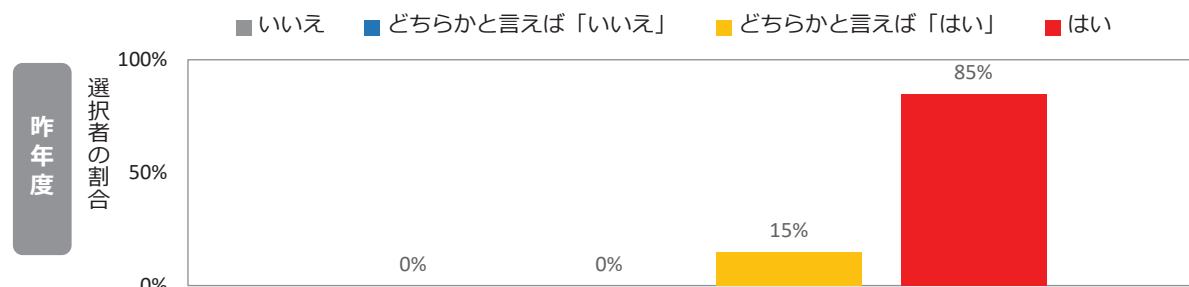
また、チューター教員からの良い支援と感じたことについて(複数回答)は、第1位が就職・キャリア支援で60%で、大幅に増加していた。続いて、「国家試験対策」「進級関係」であり、学生が直面する進路・国試・学修継続の課題に対し、チューターが実質的に支援している点が高く評価されている。

3.アンケート結果

問10. 本学の就職・キャリア支援について



(1) 本学の就職・キャリア支援体制は
 あなたの就職や進学の支援になっていましたか。



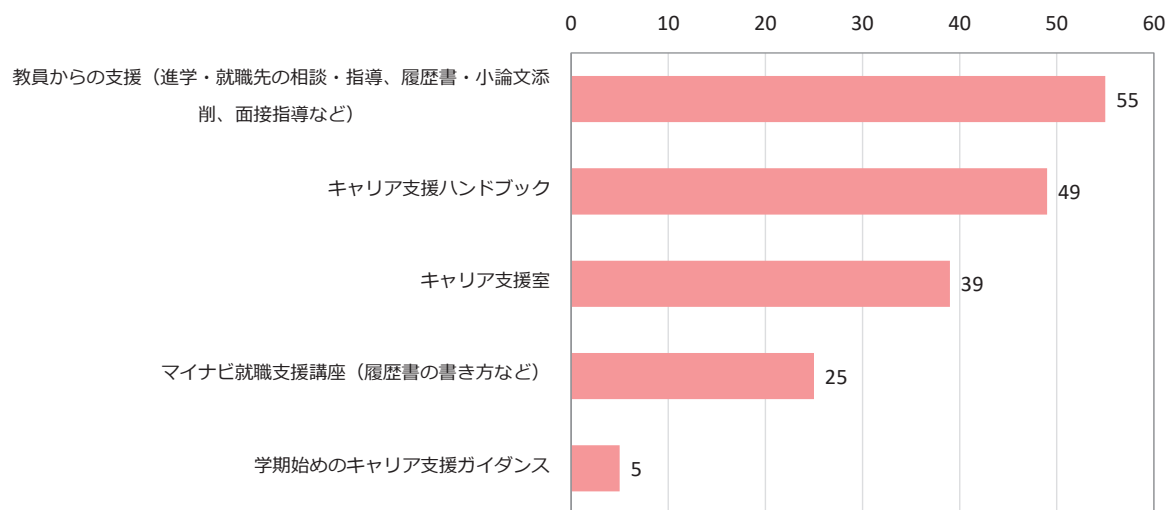
(1) 本学の就職・キャリア支援体制は
 あなたの就職や進学の支援になっていましたか。

本学の就職・キャリア支援体制が就職や進学の支援になっていたかについては、99%の学生が肯定的回答をしており、ほぼ昨年度同様な結果となった。

3.アンケート結果

問10. 本学の就職・キャリア支援について

(2) 本学の就職・キャリア支援体制で良い支援と感じたことはなんですか。
(複数回答いくつでも可)

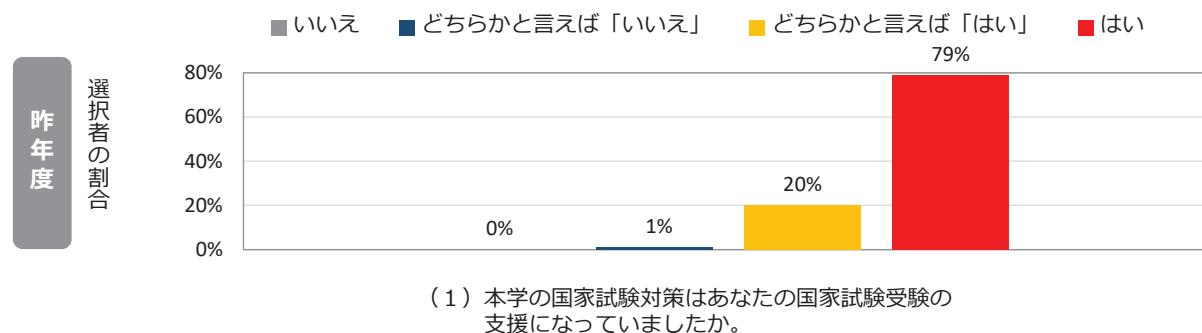
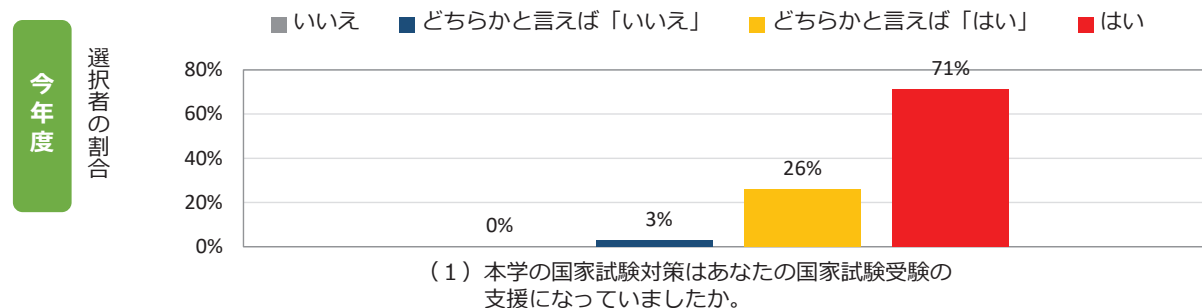


良い支援として「教員からの支援」を挙げた学生は57%と一番多く昨年度より5%向上し、ついで「キャリア支援ハンドブック」「キャリア支援室」と続いた。教員による支援が学生の満足度を大きく押し上げていることがわかる。

31

3.アンケート結果

問11. 本学の国家試験対策について



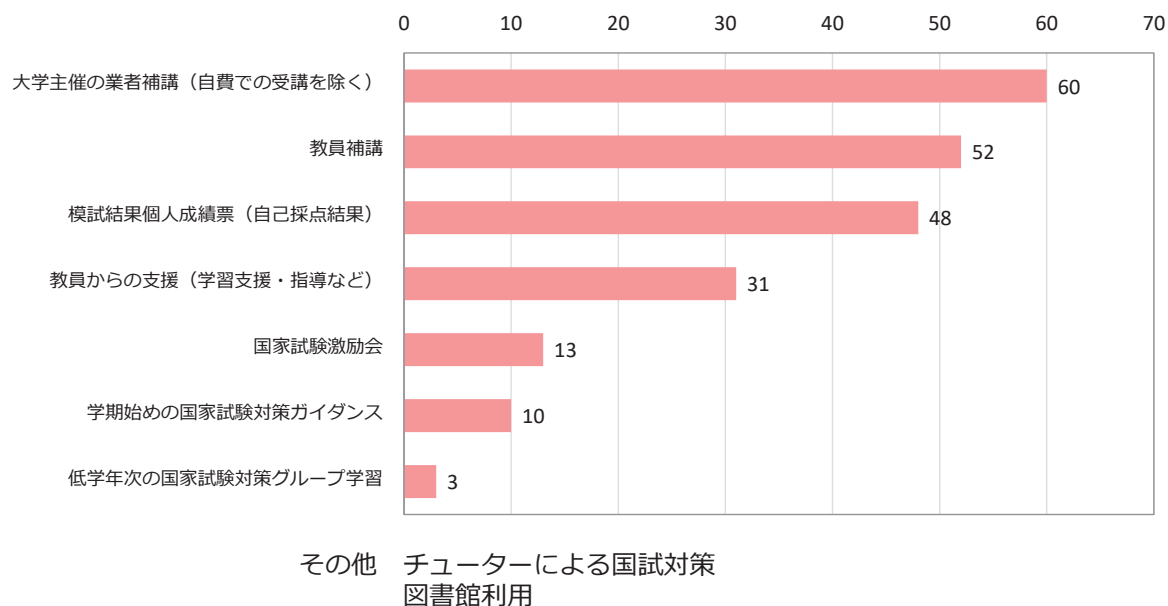
本学の国家試験対策が支援になっていたかについては97%（昨年度は99%）の学生が、「はい」、「どちらかと言えばはい」と回答しており、例年高い満足が得られている。

32

3.アンケート結果

問11.本学の国家試験対策について

(2) 本学の国家試験対策で良い支援と感じたことはなんですか。
(複数回答いくつでも可)



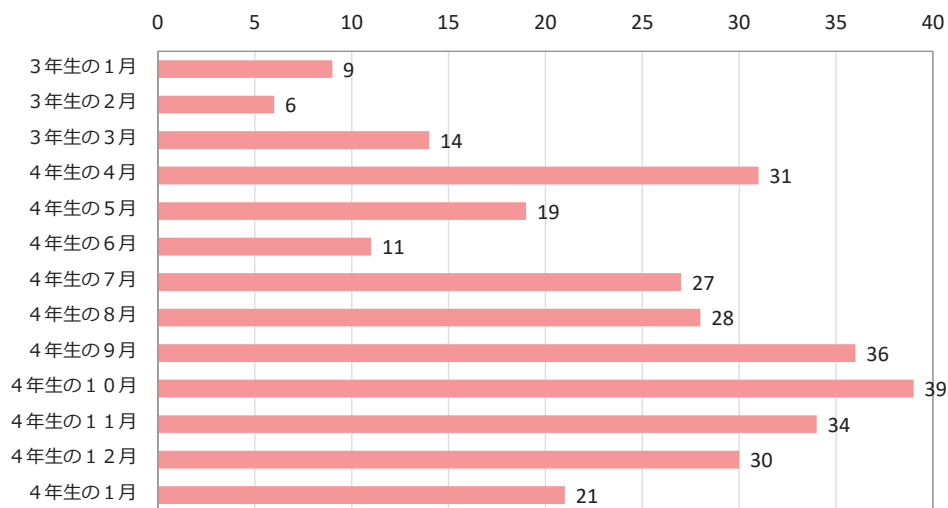
良い支援として第1位が「業者補講」「教員補講」であり、ついで「模試結果個人成績票」であった。その他として、図書館の利用が緩和されたことを触れている学生もいた。

33

3.アンケート結果

問11.本学の国家試験対策について

(3) 業者補講の実施時期について、どの時期にすると効果的だと思いますか。
(複数回答いくつでも可)

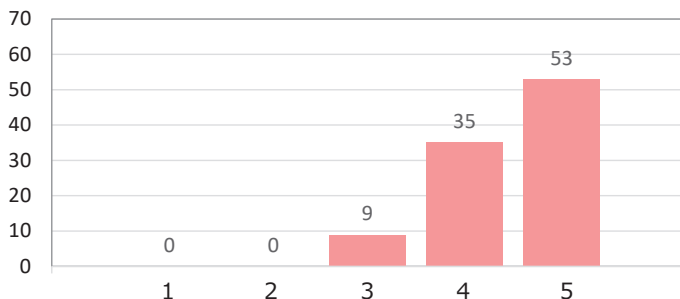


34

3.アンケート結果

問11. 本学の国家試験対策について

(4) 業者補講の内容について満足いく内容でしたか？ (5段階で評価)

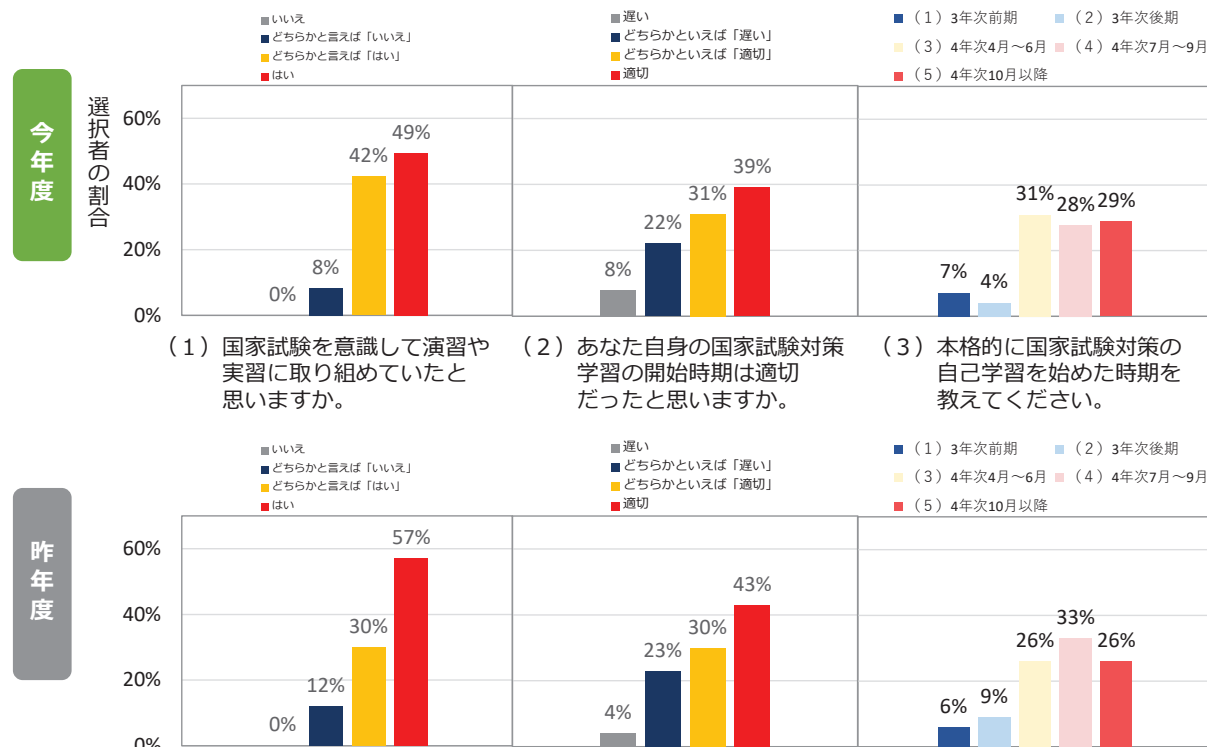


業者補講に対する満足度（5段階評価）では、4以上と回答した割合が91%であり、満足度が高かった。さらに、模試の実施回数については、適切との回答が70名と最も多かったが、国試に近い時期での実施や、模試の解説ややり直しのサポートを望む声もあった。

35

3.アンケート結果

問12. あなた自身の国家試験対策について



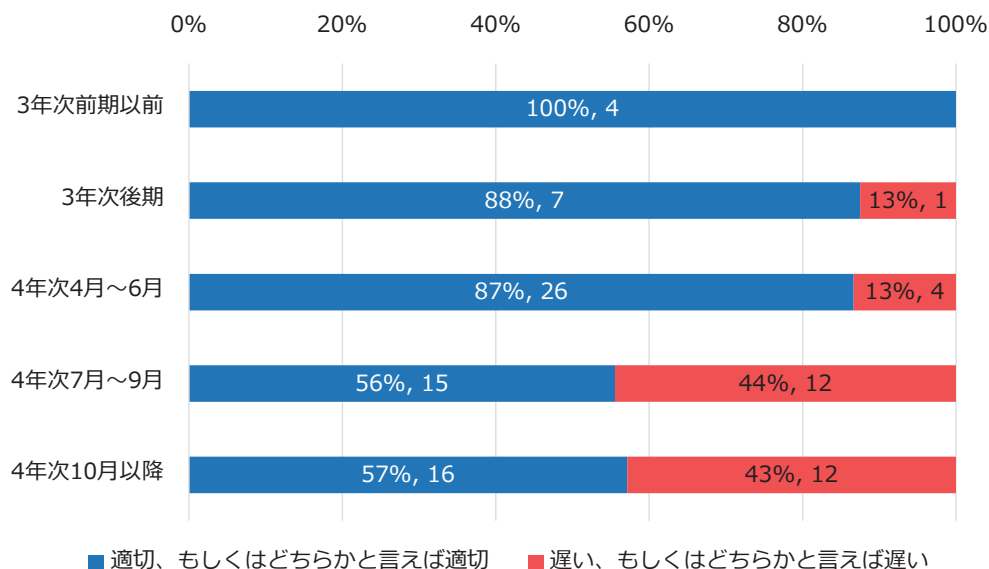
国家試験を意識して演習や実習に取り組めていた学生は92%に達し、昨年度から4%ではあるが向上した。しかし、国試対策の開始時期は例年よりやや後ろ倒しとなっており、今後は早期から取り組めるような声かけや支援が求められる。

36

3.アンケート結果

問12. あなた自身の国家試験対策について

補足分析：国家試験対策勉強の開始時期と時期の適切性について

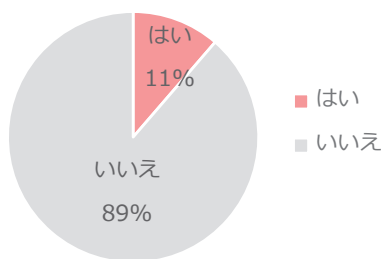


国試対策の開始時期については、4年生の4～6月頃以前に取り組み始めることが適切だと考える学生が多く、これは例年と同様の傾向であった。

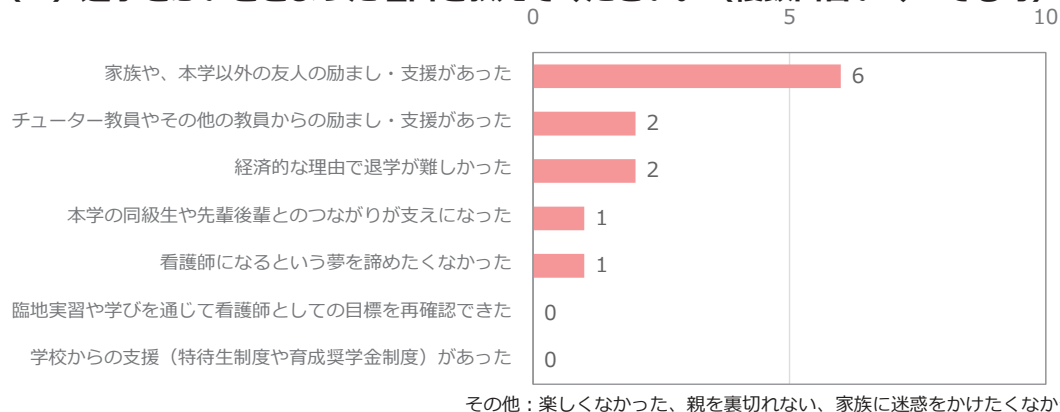
37

3.アンケート結果

問13. (1) 在学中に退学を検討したことがありますか。



(2) 退学を思いとどまった理由を教えてください。(複数回答いくつでも可)

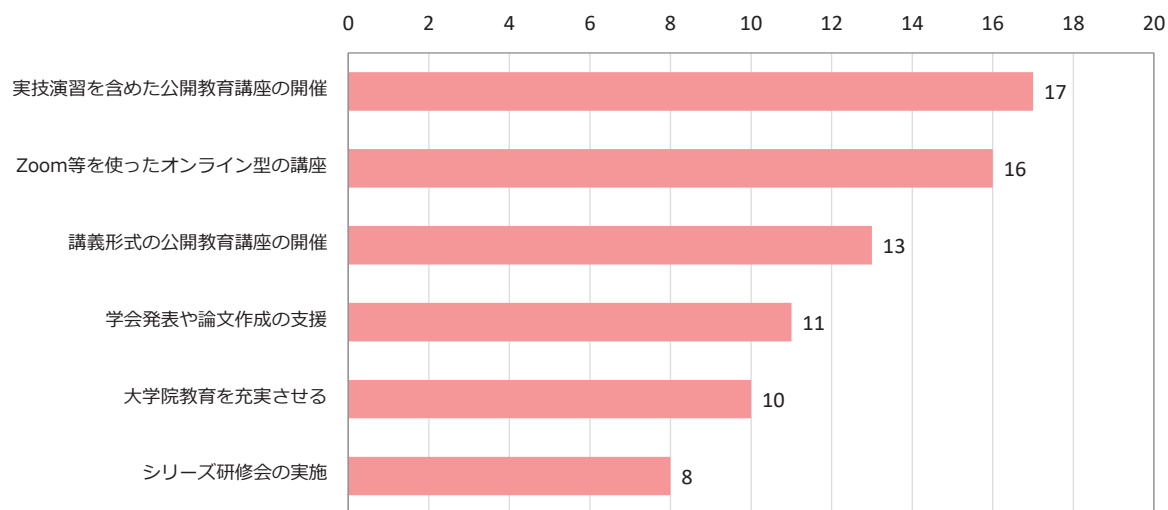


学生の退学抑止につなげることを目的として、今年度から在学期間中の退学検討の有無を問う設問を新たに設けた。退学を検討した学生は11%であり、一定数の学生が学業継続に不安や迷いを抱えていたことが確認された。退学を検討した学生の多くは、特に家族の支えを受けて学業継続へと踏みとどまっており、加えて教員や友人の支援も重要な役割を果たしていた。また、チューター教員以外への相談の機会や匿名フォームでの相談の要望があがっていた。

38

3.アンケート結果

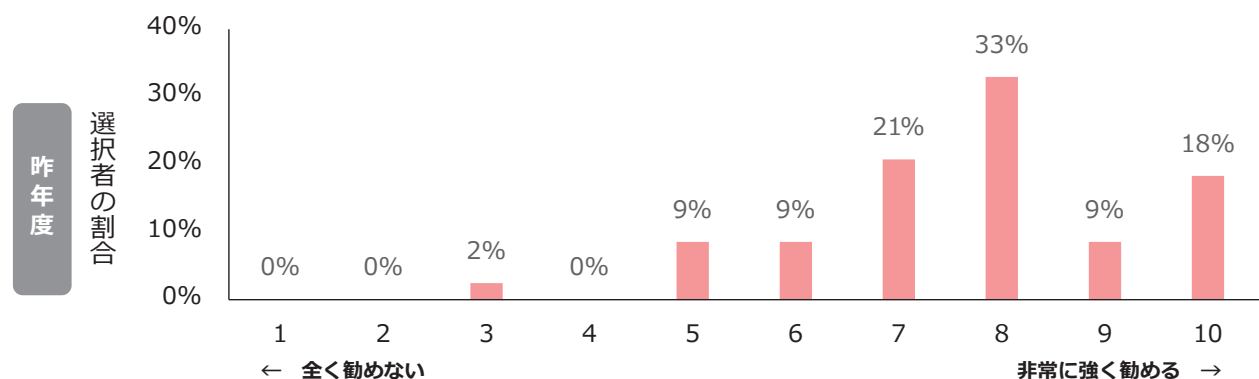
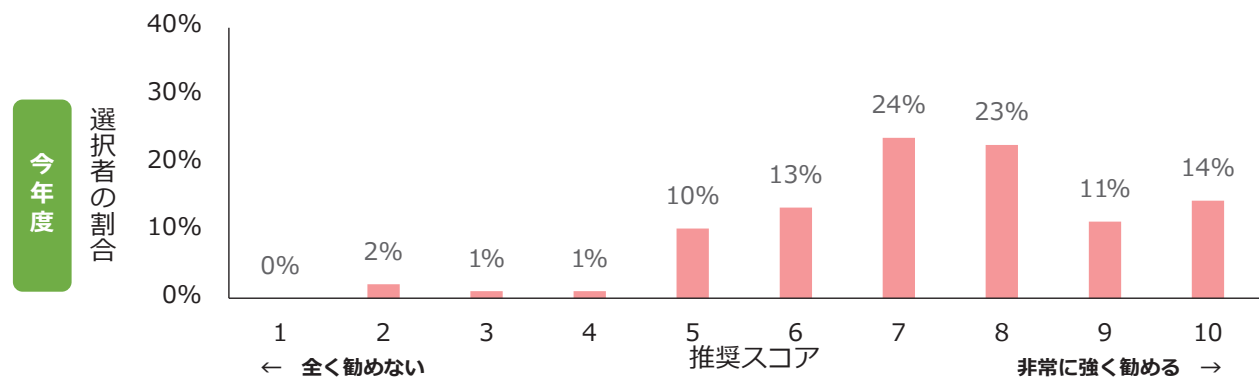
問14. 社会人になってからの生涯学習に関して、福岡看護大学にどのようなことを期待しますか。(複数回答いくつでも可)



その他：教育、指導を均一にする

3.アンケート結果

問15. あなたは福岡看護大学を高校の後輩にどの程度お勧めしたいと思いますか。

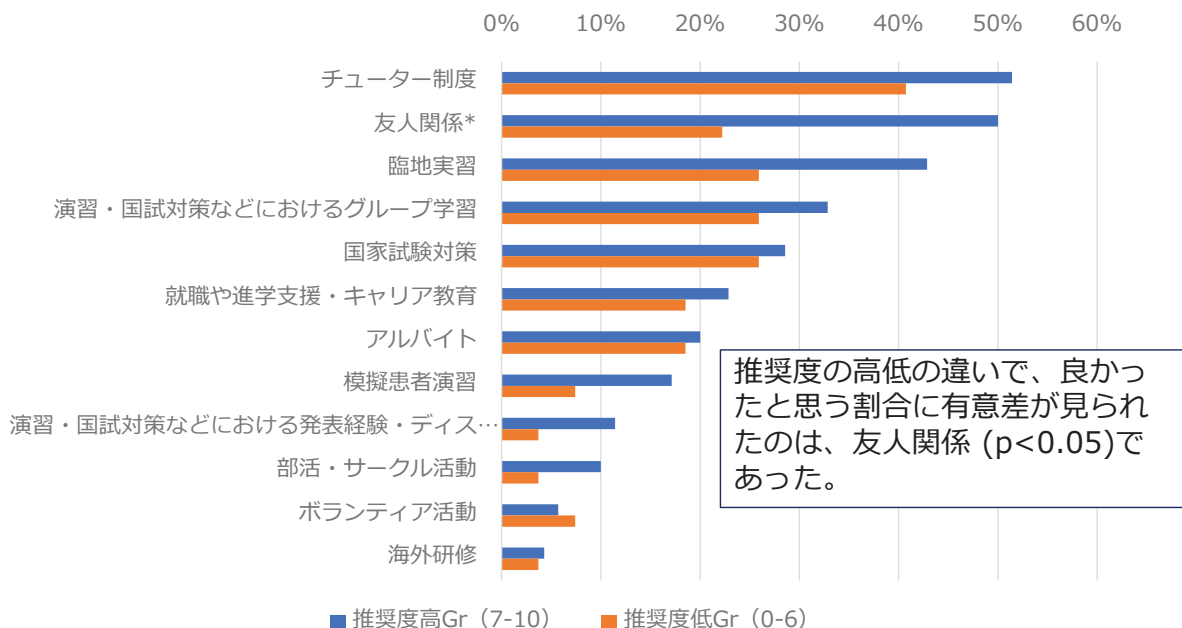


3.アンケート結果

補足分析：問16推奨度と問5との関連性比較

問15の推奨度7以上の学生（70名）を推奨度高Gr、
6以下の学生（27名）を推奨度低Gr としてグループ分けをして
問5と問9（3）の回答内容の差を比較する。

問5. あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか。



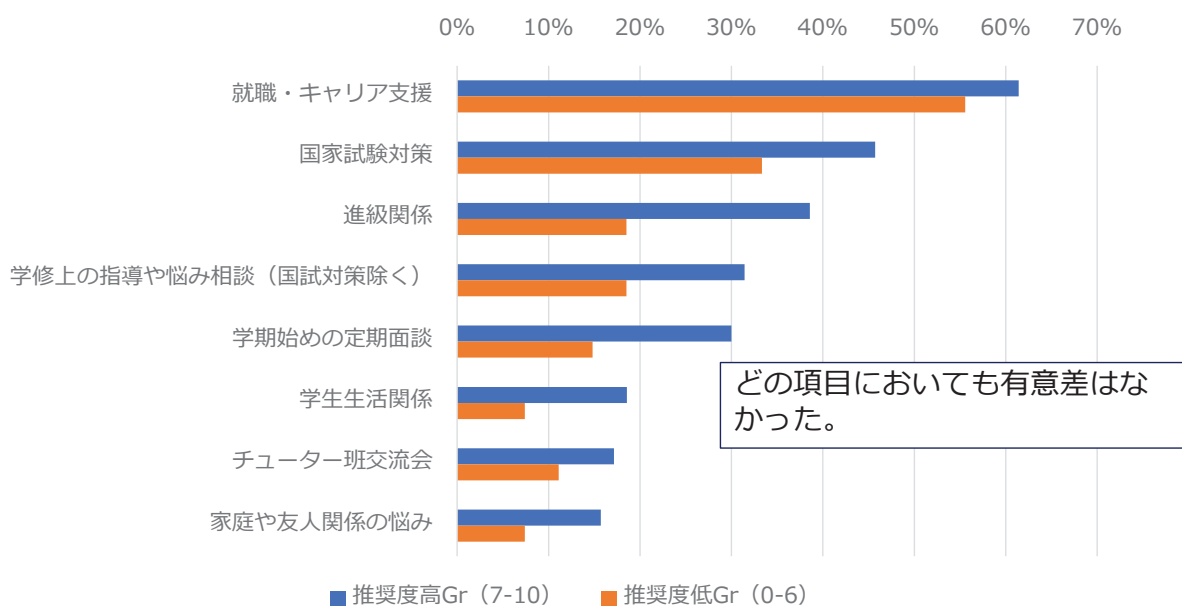
41

3.アンケート結果

補足分析：問15.推奨度と問9. (3) との関連性比較

問9. 本学のチューター制度について

(3) チューター教員からの指導・アドバイスで良い支援と感じたことは
なんですか。



42